

尾北校長室から

第 3 号

尾北「再起動」～新しい日常を

皆さん、おはようございます。4月16日から臨時休校としていましたが、今日から学校を再開します。体調はどうか？ 学習のはかどり具合はどうでしたか？ 気になるところです。

世界は、人類を挙げて新型コロナウイルスのパンデミック・世界的大流行に立ち向かっています。この取組は、14世紀のペストや100年前のスペイン風邪と並んで、おそらく「新型コロナ」という名で世界史に刻まれることになると思います。それほどに大きな出来事で、私たちは今、世界史の証人として一日一日を過ごしています。

そんな中で今日は、学校を再開するにあたって、皆さんに期待することについて2点、話をします。キーワードは、「**尾北再起動**」と「**新しい日常**」です。

1点目は、尾北再起動にあたっての**ウィルスの感染防止**についてです。学校は再開しますが、事態は決して収束したわけではありません。福岡や東京では感染者数が一転して増えてきています。広島でも第2波は起きると考えておいたほうがよいようです。



本校も再び休校とならないよう、引き続き「3密」を避け、マスク、手洗い、消毒など各自でできることを確実にやり切ってもらいたいと思います。自分だけではなく、家族や友達に感染させないためにも、とりわけマスクを外す昼食時にはできるだけ話や対面を避けるなど一人一人が緊張感を失うことなく、この非常事態を学校全体で乗り切っていきたいと思います。生徒の皆さんの協力をお願いします。

2点目は、**新しい日常**についてです。感染拡大防止が思うようにいかない中、With corona、「コロナとともに」という表現をよく見かけます。**コロナ以前の日常に戻るのではなく、コロナを前提とした新しい日常**を積極的に創っていくとするものです。社会では「オンライン～」やテレワークなど新しい形が日常になりつつあります。

そこでこの機を生かし、皆さんも**自分自身の新しい日常**、つまり新しい考え方や生活習慣を創るという努力を期待したいと思います。例を2つ挙げてみます。

- ① **勉強方法の工夫**： 今後も突然の事が起これば、何かをしようと予定していた時間も使えなくなります。日頃から「効果・効率」ということに着目し、少ない時間で効果が上がる方法を工夫する。例えば、休憩はやることを終えてするのが普通ですが、そうではなく**次にやる参考書のページを開いて準備しておいてから休憩**する。そうすれば次のとりかかりが早くなり、集中力の観点からも効果的です。
- ② **主体的に取り組む姿勢**： 私たちは、3か月間、登校も部活もできないという経験をしました。ウィルスの第2波がくれば再びそうなるし、地震や大雨などの自然災害が起きても同様、一人で物事に取り組まなくてはなりません。そういうことを想定し、やるべきことを人から言われるのではなく、日頃から**自分で課題を設定し取り組む**という前向きな心構えをもつようにする。

他にもいろいろあると思います。習慣は無意識であるが故に、自分一人ではなかなか変えられないものです。環境が大きく変わるこの時を、自分の中の「当たり前」を振り返ってみる機会とすべきです。学校再開後も当面、部活動は時間制限があるなど、いろいろ不便を強いられます。しかし、それを単に不便として受け入れるだけではなく、その状況のもとで新たにすべきこと・できることを考え行動してもらいたいと思います。**3か月間の休校の経験が、無意味に過ぎていくことを許してはなりません**。今こそ、**北高生の底力**を見せる時です。尾北の可能性を見せてください。

今日、6月1日は、尾北「再起動」の日。改めてコロナウィルス感染防止をお願いするとともに、北高生一人一人の新しい日常に向けた「**一生懸命**」を応援していきたいと思います。一緒に頑張りましょう。以上です。